



2011年1月31日発行



今回の紙面から (ページと内容)

1. 会長挨拶
2. 第4回国際春季フォーラム案内
第29回大会案内
(Student) Workshopの企画募集
理事会・評議員会より
3. 編集委員会より
4. 大会運営委員会より
日本英語学会2010年度収支中間報告書
5. 日本英語学会賞と日本英語学会新人賞募集
事務局より

会長挨拶

会長 稲田 俊明

新しい年を迎え、会員の皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年4月に新事務局をスタートさせ、学会の更なる発展をめざし各種事業を推進してまいりました。特に、学会賞・新人賞等の顕彰制度の見直し、電子化による事務効率化・予算節減など関連委員会やWG委員会における検討結果を受けて、諸改革を積極的に推進してきました。この間、不慣れな新事務局をご支援いただき、皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

学会の国際化をめざす事業のうち、昨年4月に開催された第3回国際春季フォーラムについては、青山学院大学において成功裏に終了したことはすでにお伝えしました。非会員を含めた参加者の増加や海外研究者の応募状況など、今後とも検討すべき課題はありますが、本学会が開催する国際学会が軌道に乗りつつあることを示す目に見える成果の一つであると言えます。

昨年11月には、第28回年次大会が、日本大学文理学部キャンパスにおいて開催され、研究発表、シンポジウムなど多数の参加者を得て盛会裏に終了しました。年次大会の企画のなかで、特に、公開シンポジウム「英語学ってどんなことをするのか?—英語学について知ろう!—」は、現代英語学の多様な研究成果を社会に問う企画の一斑と捉え

ることができますが、予想を大きく上回る大勢の会員・非会員の参加者により活発な議論があり、大きな成功を収めました。その後に開催された懇親会も例年になく参加者で大いに盛り上がりました。大会運営委員会と開催校委員の周到なご準備とご尽力を重ねてお礼申し上げます。本年度の国際春季フォーラムと第29回年次大会にも会員の皆様の大勢のご参加をお待ちしています。

本学会は、1983年に上智大学で設立総会を開催して以来、高い研究水準を誇る学術団体として実績を積み重ね、2012年には設立30周年を迎えることとなります。昨年12月には、30周年記念大会の開催に向けたWG委員会を発足させましたが、今後、理事会や関連委員会で知恵を出し合って、学会の更なる飛躍をめざした具体的な計画を練って行きます。

このような学会の具体的な事業とは別に、学会が持続的な発展を続けるためには、若手研究者や大学院生の積極的な学会への加入が不可欠です。会員の皆様におかれましても、機関誌への投稿、学会賞への応募、学会発表の推奨などに加えて、機会あるごとに身近な研究者や大学院生に学会への入会をお勧めいただきたいと思います。

ご存知のように、*English Linguistics* は投稿論文に査読者からの丁寧なコメントを付して学会機関誌の質の向上に努めています。ELの高い研究水準の維持は、学会自体の外部評価にも拘わることでありますが、他方では、査読を通じた教育的指導が、特に若手研究者の育成・支援に繋がります。またこれに呼応して、学会賞WG委員会、編集委員会などの献身的な尽力により、2011年度より顕彰制度が抜本的に改善されます。この改善策が今後功を奏して必ずや若手研究者の表彰に繋がりを、ひいては外部評価や研究資金獲得等にも役立つものと期待しています。

学会や研究者を取り巻く環境は厳しくなっていますが、互いに知恵を出し合って、学会活動を活性化させる方策を考えましょう。会員の皆様の変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

第4回国際春季フォーラムのご案内

第4回国際春季フォーラムは次の通り開催されます。

日時：2011年4月23日(土)・24日(日)

場所：静岡大学(浜松キャンパス)

(〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3丁目5-1)

詳細については、同封のプログラムをご覧ください。

第29回大会のご案内

第29回大会は次の通り開催される予定です。

日時：2011年11月12日(土)・13日(日)

場所：新潟大学

(〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地)

会員の方は奮って研究発表にご応募下さい。応募締め切りは4月1日(金)24時(必着)です。応募の際は、学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/elsj/index.html>)掲載の研究発表応募規定を遵守下さいますようお願いいたします。

第29回大会においても「親と子の部屋」を設置いたします。詳細は、今後学会ホームページや7月発行のニューズレターでご案内いたします。

(Student) Workshop の企画募集

日本英語学会では、会員の自主的な企画・運営によって特定のテーマについて発表と自由な討論をしていただく場として、ワークショップ/スチューデント・ワークショップ企画を例年募集しています。第29回大会では、11月12日(土)の午前9時30分から11時45分までをワークショップ/スチューデント・ワークショップにあてる予定です。

企画・運営をご希望の方は、学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/elsj/index.html>)掲載のワークショップ募集案内をご確認のうえ、3月31日(木)24時(必着)までに、同案内指定のアドレスまで企画書と応募用紙を送信してください。

理事会・評議員会より

○ 会計

2010年11月12日に開催されました第61回理事会と第28回評議員会において、日本英語学会2010年度収支中間報告が承認されました。「日本英語学会2010年度収支中間報告書」は、4-5ページに掲載されておりますので、ご覧ください。

○ 役員の異動

・理事(退任)

影山太郎氏が2010年11月30日付で理事を退任されました。

・理事(新任)

福地肇氏(東北大学)が2010年12月1日付で、影山太郎氏の後任の理事に就任されました。任期は、2012年3月31日までです。

・顧問(新任)

前会長の原口庄輔氏(明海大学)が2010年12月1日付けで顧問に就任されました。

・大会運営委員長(退任)

水口志乃扶氏が2010年12月14日付で退任されました。

・大会運営委員長(新任)

菊地朗氏(東北大学)が2010年12月15日付で大会運営委員長に就任されました。任期は1年間です。

○ 日本英語学会創立30周年記念事業ワーキンググループの設置について

2010年11月12日開催の第61回理事会において、日本英語学会創立30周年記念事業に関する標記ワーキンググループを、2010年12月1日付で設置することが決定されました。構成員は次の方々です。

米山三明氏(理事、代表)、福地肇氏(理事)、大庭幸男氏(理事経験者)、菊地朗氏(大会運営委員長)、藤田耕司氏(大会運営委員)、西岡宣明氏(事務局)、岡崎正男氏(事務局、3月31日まで)

○ 大会運営委員の増員について

日本英語学会創立30周年に関連して、大会運営委員を1名増員することが2010年11月12日開催の第61回理事会において決定され、藤田耕司氏(京都大学)が12月20日付で大会運営委員に就任されました。任期は2012年11月30日までです。

○ 寄付

2010年8月19日付で、山口大学英語学研究会より34,291円のご寄付をいただきました。

2010年11月12日付で、東京地区言語学サークルより100,000円のご寄付をいただきました。

ご厚意に対しまして厚くお礼申し上げます。

ご寄付は、日本英語学会の事業の活性化のために有効に利用いたします。

○ 訃報

本学会の理事、評議員、および初代会準備委員長を務められました村田勇三郎先生が2010年11月26日に逝去されました。日本英語学会へのご貢献に感謝しますとともにご冥福をお祈りいたします。

編集委員会より

◇ *English Linguistics* 第27巻2号(2010年秋号)の刊行について

EL 27.2 (秋号) が刊行されました。Article 3編、Brief Article 2編、Review Article 1編、Review 8編と特別企画2009の事前審査で採用となった「特集テーマ：Functional Categories, Directionality, and Gradualness in Syntactic Change」のもとで執筆・一括投稿された3編の論文とIntroductionが掲載されています。会員の皆様には、本年1月中旬に送付されています。

◇ *English Linguistics* 第28巻1号(2011年春号)の応募論文の査読結果について

2010年9月20日締め切りで投稿された一般論文の総数は9編で、投稿部門と投稿分野の内訳は、Article 4編 (syntax 2, semantics 1, historical linguistics 1)、Brief Article 4編 (syntax 2, semantics 1, cognitive linguistics 1(内1編は1次審査開始後に取り下げ))、N&D 1編 (syntax 1)でした。

右段の表は、徳穂によるReview 3編と*EL* 27巻2号に応募されて「4ヶ月書き直し」と判定され、今号に再投稿された論文2編も含めた*EL* 28.1 (春号)の審査結果です。

表の結果に加えて、The ELSJ 3rd International Spring Forum 2010における招待講演に基づく招聘論文が「特別企画2010 招聘論文」として1編掲載される予定です。

	応募数	採用	不採用	取り下げ	審査中
AR	4	2	2	0	0
BA	4	0	2	1	1
N&D	1	1	0	0	0
RA	0	0	0	0	0
Rev	3	3	0	0	0
4ヶ月書き直し					
AR	0	0	0	0	0
BA	2	1	1	0	0
合計	14	7	5	1	1

◇ *English Linguistics* 第28巻2号(2011年秋号)への投稿について

2011年12月発行の*EL* 28.2 (秋号)の原稿締切は、2011年4月1日(金) 24時(必着)です。

応募される方は、学会ホームページに記載されている投稿規定及び書式に関する注意事項を通読され、最新版の規定に則って作成してネイティブ・チェックを受けた原稿をご投稿下さいますよう、お願い申し上げます。

◇ 「特別企画2010：特集テーマによる一括投稿論文」の事前審査への応募について

「特別企画2010：特集テーマによる一括投稿論文」の公募は2010年12月15日に締め切れ、事前審査に対して2件の応募があり、現在審査中です。「特別企画2011：特集テーマによる一括投稿論文」の公募については、2011年度初めに、学会ホームページで案内を行う予定です。

◇ 2010年度 *EL* 研究奨励賞について

EL 27巻より、*English Linguistics*に掲載された論文 (ARとBA) で優れたものに「*English Linguistics*研究奨励賞」を授与することが決定されましたが、2010年度は、2009年9月20日締切の*EL* 27巻1号 (2010年6月刊行済み)と2010年4月1日締切の*EL* 27巻2号 (2010年12月刊行済み)に投稿されてすでに採用となったAR4編、BA6編あわせて10編について、先ず、分野別1次審査を行いました。審査対象となった論文の分野は、概略的にsyntax 5編、semantics (lexical semantics 1, cognitive linguistics 1) 2編、historical linguistics (syntax 2, syntax & morphology 1) 3編です。1次審査結果を踏まえ、*EL* 研究奨励賞候補論文を4編に絞込み、現在「最終選考委員会」で、最終選考中です。最終選考で決定された2010

年度「EL研究奨励賞」は、2011年3月中に受賞者にお知らせします。受賞論文の執筆者は、ELに投稿した時の年齢（あるいは研究歴）に即して、2011年度の第8回日本英語学会新人賞あるいは第3回日本英語学会賞（論文）への応募の有資格者となります。

大会運営委員会より

□ 大会運営委員会の構成

昨年12月より大会運営委員会の構成は次の通りとなりました。

（委員長）菊地 朗氏
 （副委員長）大堀壽夫氏
 （委員）塩原佳世乃氏、中谷健太郎氏、鍋島弘治朗氏（国際春季フォーラム実行委員長）、藤井洋子氏、縄田裕幸氏、上田由紀子氏、奥野忠徳氏、片岡邦好氏〔以上留任〕
 大名 力氏、菅原真理子氏、新沼史和氏、中西公子氏、島 越郎氏、藤田耕司氏〔以上新任〕

□ 第29回大会シンポジウム企画について

現在準備が進行中です。詳しい内容は『え〜ごがく』55号でお知らせいたします。

□ JELS 28 について

JELS 28 は、現在大会運営委員会にて編集中です。全会員に3月末にお届けする予定です。

□ 第28回大会の報告

第28回大会は、2010年11月13日(土)・14日(日)の両日、日本大学文理学部キャンパスにて開催されました。本大会では、5つのシンポジウム、34の研究発表、7つのワークショップが行われました。大会2日間で619名の参加者があり、盛会裏に終えることができました。今回も各出版社から書籍の展示をいただき、本大会では22社の展示がありました。大会運営を支えて下さった開催校の先生方や大会運営委員の先生方、そして参加された会員の皆様のご協力に対して、心より御礼申し上げます。また、今回も大会運営に関する貴重なご意見を多数いただきありがとうございました。今後の大会運営の参考にさせていただきます。

日本英語学会2010年度収支中間報告書

2010年11月1日
 日本英語学会会長
 稲田俊明

収入	¥15,440,615
支出	¥5,541,036
	¥9,899,579

【収入内訳】

2009年度より繰越 会費	¥10,133,230
大会参加費（春）	¥3,548,235
JELS予約金	¥358,000
科研費	¥0
利息	¥900,000
雑収入	¥1,150
寄付	¥0
合計①	¥500,000
	¥15,440,615

【支出内訳】

EL刊行費	¥1,810,928
NL等印刷費	¥63,966
業務委託費関係	¥1,283,147
事務委託費	¥596,930
発送費	¥686,217
大会関係費	¥468,285
印刷費	¥63,005
運営費	¥355,280
謝金	¥50,000
JELS関係費	¥0
委員会関係費	¥793,785
旅費	¥667,280
会議費	¥126,505
事務局関係費	¥1,070,925
賃貸料	¥0
人件費	¥925,670
通信費	¥54,615
消耗品費	¥0
謝金	¥20,000
交通費	¥70,640
資料コピー費	¥0
その他	¥0
新人賞・特別賞費	¥0
協賛学会への助成	¥50,000

特別事業費への繰り入れ	¥0
予備費	¥0
合計②	¥5,541,036

日本英語学会賞および日本英語学会新人賞の募集

『え〜ごがく』53号でお知らせしましたように、2011年度より日本英語学会賞（著書）、日本英語学会賞（論文）、日本英語学会新人賞の応募方法と応募期間が以下のようになります。

・**応募方法**：必要な書類を日本英語学会ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ、下記の指定メールアドレスに送信してください。

日本英語学会賞（著書）：award-b-obo@kaitakusha.co.jp

日本英語学会賞（論文）および日本英語学会新人賞：

award-a-obo@kaitakusha.co.jp

・**応募期間**：2011年4月1日より5月31日まで

・**その他**：日本英語学会のホームページにあります応募規定を熟読のうえご応募ください。不明の点は事務局あてEメールにてご連絡ください。

事務局メールアドレス：elsj-info@kaitakusha.co.jp

事務局より

○ 会費納入のお願い

会費未納の方は、学会支援機構から送られました振込用紙で納入して下さいますようお願いいたします。2年間滞納されますと、会員規定第3条第4項により、自動的に退会扱いとなりますので、ご注意ください。

○ 学生会員登録について

2011年度に学生会員として登録（2010年度からの継続を含む）を希望される方は、以下の要領でお申し出ください。申告期間の終了後に2011年度の会員種別を確定し、会費請求をいたします。申告期間内にお申し出がない場合には、通常会員として会費請求がなされますので、ご注意ください。

●申告資格：次の①もしくは②の条件を満たす会員

①大学など学校の「学生」の資格をもつ会員。

②研究生・聴講生・専任の勤務を持たない大学院修了者、および外国の大学の日本校の学生。

●申告期間：2011年4月1日より4月25日（必着）

●申告方法：会員番号・氏名・4月以降に在籍する学校の名称を記した用紙に、4月以降に学生であることを証明する以下の(1)から(4)のいずれかの書類を添付し、事務局宛（宛先は奥付参照）「学生会員登録希望」とかならず朱書きのうえ、郵送してください。

(1) 在学する学校の発行する在学証明書

(2) 学生証のコピー

(3) 進学する学校・課程の合格通知書のコピー

(4) (元) 指導教員（所属明記）の署名（捺印）と証明の言葉

専任の勤務先を持たない大学院修了者は、(4)の方法により書類を提出してください。申告されたのちに変更が生じた場合や不明な点については、事務局にEメールでご連絡ください。

連絡先メールアドレスは、以下の通りです。

elsj-info@kaitakusha.co.jp

○ 日本英語学会からの各種お知らせについて

研究発表応募規定、EL投稿規定、学会賞・新人賞の応募規程等が改定された場合には、ニューズレターとホームページにてお知らせいたします。特に、ホームページには最新の情報が掲載されますので、定期的に関覧することをお勧めします。

○ ELへの論文投稿に関するお願い

ELに論文を投稿される際には、日本英語学会ホームページに掲載されております投稿規程をよく読んでいただき、規定を遵守したうえで投稿されるようお願いいたします。

また、JELSや所属機関のworking papers等に掲載された研究（の一部）を発展させてELに投稿する場合には、論文審査が公平で厳正に行えるよう、関連する投稿者自身のこれまでの研究論文の情報は必ず記載してください。本文等でそれらに言及するときには、3人称表現をご使用ください。

○ EL掲載論文の再録やレポジトリへの登録に関するお願い

ELに掲載された論文の著作権は日本英語学会にあります。ELに掲載された論文を他のジャーナルや著書に再録する場合には、本学会の許可が必要です。再録をご希望の場合には、事務局あてお知らせください。

また、各大学の「学術情報レポジトリ」や「電

子アーカイブ」にELに掲載された論文を登録するご希望がある場合には、事務局までお知らせください。日本英語学会では、発行後4年以上経過した論文の登録をお認めしています。

連絡先メールアドレスは、以下の通りです。
elsj-info@kaitakusha.co.jp

○ JELS掲載論文の再録・登録に関するお願い

JELS掲載論文についても、再録および学術レポジトリや電子アーカイブへの登録や個人のウェブサイトへ掲載の場合には、EL掲載の論文と同様に、事前に事務局までEメールでお申し出ください。

発行後1年を経過したJELS掲載論文は、お申し出があれば再録や学術レポジトリなどへの掲載をお認めしております。

連絡先のメールアドレスは以下の通りです。
elsj-info@kaitakusha.co.jp

○ EL公費購入のお願い

ご所属の大学図書館や研究室でELを購入されていない場合には、ぜひ購入の手続きをしていただきたく存じます。ELがより多くの研究者に知られるだけでなく、本会の運営にも益するところがありますので、よろしく願いいたします。

○ 電子版投稿・審査体制に関連するお願い

研究発表応募、ELへの投稿、および学会賞・新人賞への応募の電子化に伴い、学会から会員の方々に電子メールで連絡することが普通になっています。つきましては、メールアドレスや住所等の連絡先、及び所属に変更が生じた場合には、速やかに学会支援機構にご連絡いただき、電子版投稿・審査体制の下での学会運営にご協力いただきますようお願いいたします。連絡方法については、日本英語学会ホームページをご覧ください。

なお、事務局あるいは各委員会からメールで連絡を差し上げた際の返信は、通常1週間の余裕をみてお願いしておりますので、その期間内にご返信をいただけますようお願いいたします。

○ 外部査読者登録（更新）のお願い

「English Linguistics外部査読者登録のお願い」を、事務局から、今年の3月中旬から下旬にかけて送信する予定であります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○ 連絡先等変更のご連絡のお願い

学会から会員への連絡は、電子メールで行なうことが通常の状態になっています。つきましては、メールアドレスに変更が生じた場合には、速やかに学会支援機構にご連絡いただきますようお願いいたします。

住所等の連絡先および所属に変更が生じた場合にも同様をお願いいたします。連絡方法については、日本英語学会ホームページをご覧ください。

編集後記

『え〜ごがく』53号でもお知らせしましたように、今年度より、名簿発行の停止、大会資料の簡略化などの経費削減策を実施いたしました。また、今年度よりJELSが会員全員へ配布されますが、経費抑制のため、書式が2段組みに変更されます。今後とも、経費削減についてご理解のほどお願い申し上げます。

3月末で現事務局長が退任となり、4月より現事務局長補佐の西岡宣明氏が事務局長に就任し、事務局の引継ぎが完了いたします。(突然の)事務局長就任(と1年延長)は、自分の視野を広げる絶好の機会とはなりましたが、不慣れによりご迷惑をおかけしたことも多いかと存じます。この2年間の会員各位のご理解とご寛容に対しまして厚くお礼申し上げます。

(岡崎正男)

2011年1月31日発行

編集・発行 日本英語学会

代表者 稲田 俊明

発行所 日本英語学会

<http://www.soc.nii.ac.jp/elsj/>

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-2

開拓社内

電話 (03) 5842-8900
